

地区別カルテ (四谷文化センター圏域)

地区現況

- 地区人口は13,141人（全市に占める割合5.1%）であり、地区南東部（四谷1丁目）に特に集中している。
- 老年人口は2,742人、高齢化率は20.9%であり、府中市全体と比べてやや低い高齢化率である。
- 地区内には、路線バスが6路線、ちゅうバスが2路線運行しており、「**国立駅**」、「**聖蹟桜ヶ丘駅**」、「**中河原駅**」、「**分倍河原駅**」、「**府中駅**」にアクセスすることができる。
- ちゅうバスは、**片方向循環ルート**で運行されている。

【地区概要】

< 四谷エリア >

人口・世帯等		
面積	1.87km ²	
地域	四谷、日新町5丁目の一部	
世帯	5,568世帯	
(全市に占める割合)	4.4%	
人口	13,141人	
(全市に占める割合)	5.1%	
3区分人口	0～14歳	2,101人
	15～64歳	8,298人
	65歳以上	2,742人
	75歳以上(再掲)	1,489人
		11.3%

※面積・世帯・人口は日新町5丁目を含んでいない。

< 府中市全体 >

人口・世帯等		
面積	29.43km ²	
世帯	126,160世帯	
人口	260,232人	
3区分人口	0～14歳	34,082人
	15～64歳	169,156人
	65歳以上	56,994人
	75歳以上(再掲)	29,604人
		11.4%

【人口・世帯等の基準日】令和2年1月1日現在。

【出典】住民基本台帳より。

表 地区内の公共交通

路線	起終点	便数
桜08 (京王バス)	都営泉二丁目 - 中河原駅 - 聖蹟桜ヶ丘駅	2便 土日祝
国18 (京王バス)	国立駅南口 - 日新町二丁目 - 聖蹟桜ヶ丘駅	96便
中03 (京王バス)	中河原駅 - NEC正門 - 都営泉二丁目	4便
分54 (京王バス)	都営泉二丁目 - 分倍河原駅	1便
桜18 (京王バス)	都営泉二丁目 - 福荷神社 - 聖蹟桜ヶ丘駅	2便
桜19 (京王バス)	都営泉二丁目 - デュオヒルズ前 - 聖蹟桜ヶ丘駅	9便
よつや苑西ルート (ちゅうバス)	中河原駅 - 分倍河原駅 - 府中駅	21便
四谷六丁目ルート (ちゅうバス)	中河原駅 - 四谷六丁目 - 中河原駅	24便



図 地区現況図(人口、施設立地、運行ルート)

公共交通の利用状況

- 地区内で利用が多いちゅうバスのバス停は、「**四谷さくら公園**」、「**よつや苑西**」、「**三屋通り中**」、「**府中第八中学校北**」となっている。一方、「**四谷一丁目**」、「**四谷一丁目東**」、「**四谷公会堂**」、「**三屋**」においては、**比較の利用が少ない**。
- 市全体と比較すると、**ちゅうバス・路線バスの利用が多い**地域となっている。
- 公共交通の満足度をみると、18.3%が不満と回答しており、市全体と比べてやや割合が多い。
- 公共交通の不満点としては、「**バスの本数が少ない** (53.8%)」、「**駅・バス停までの移動が大変** (23.1%)」、「**目的地までのバスがない** (23.1%)」、「**自転車の走行環境が悪い** (23.1%)」であった。

【利用状況】

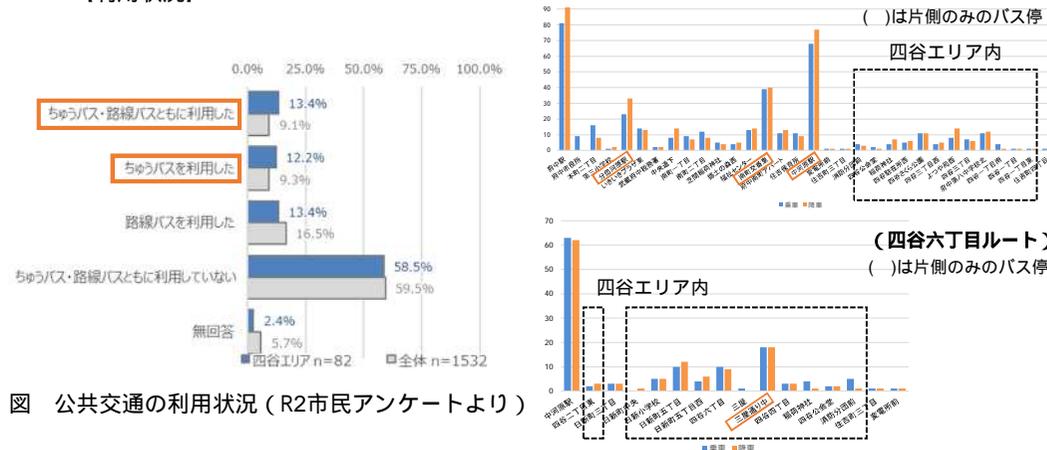


図 公共交通の利用状況 (R2市民アンケートより)

図 バス停別の乗降車数 (R3ちゅうバス利用者アンケートより)

【公共交通に対する満足度】(R2市民アンケートより)



図 公共交通に対する満足度

図 公共交通の不満点

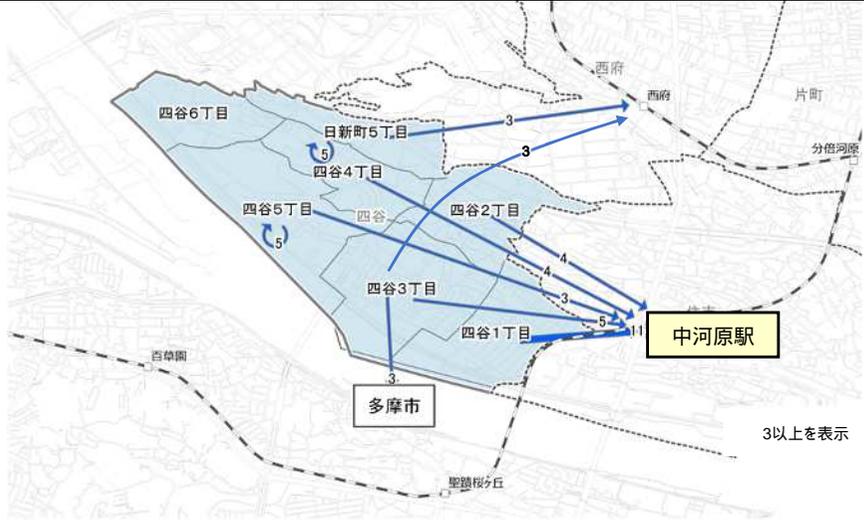
- | 住民の声 (令和2年度市民アンケートより) | 民生委員アンケート |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 電車とバスの乗り継ぎがうまく合わない。(四谷4丁目 70代 男性) 6時から8時もちゅうバスが走っていると便利です。(四谷3丁目 20代 男性) 中河原駅周辺の自転車駐輪場が少ないので困っています。(四谷5丁目 70代 女性) | <ul style="list-style-type: none"> 西府駅から路線バスで多摩総合医療センターに行きたいが、ちゅうバスが西府駅を通らないので不便。 ちゅうバスは、反対回りがないので、帰りは時間がかかってしまう。 |

地区別カルテ (四谷文化センター圏域)

移動特性 (R2市民アンケートより)

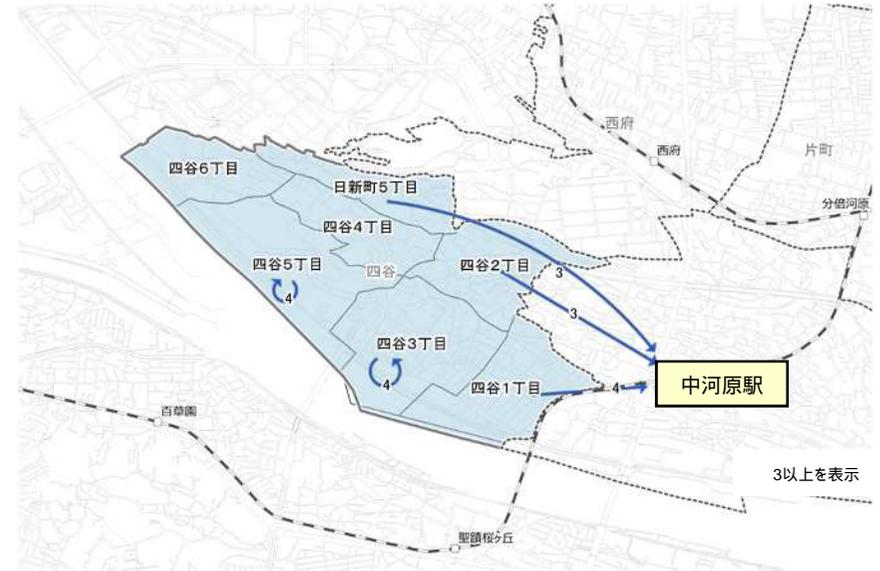
【日用品の買い物】

- 日用品の買い物先としては、「**中河原駅周辺**」が最も多い。
- 四谷4丁目、四谷5丁目では**町内で日用品の買い物を済ませる傾向**もある。
- 地区北部から「**西府駅周辺**」への買い物も見られる。
- 四谷3丁目から「**多摩市**」への移動も見られる。
- 一方で、**府中駅方面への移動は、比較的少ない。**



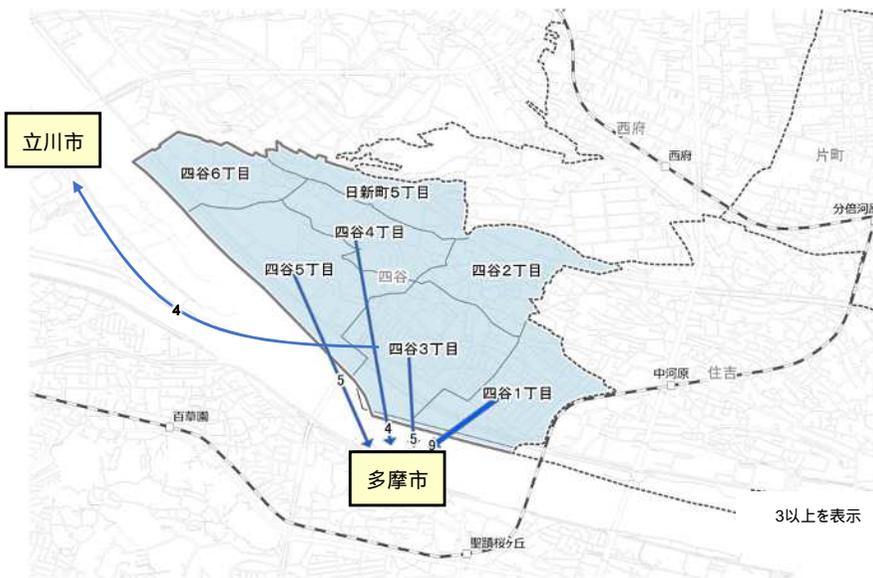
【通院】

- 通院先は、「**中河原駅周辺**」が多い。
- 四谷5丁目、四谷3丁目では、**地域内の通院**も見られる。
- その他、「**西府駅**」への通院も一定程度見られる。



【日用品以外の買い物】

- 日用品以外の買い物先は「**多摩市**」が多く、市内への移動は少ない。



【交通手段】

- 用事別の交通手段は図のとおりである。
- 公共交通の利用状況を市全体と比べるといずれの用事においても鉄道の利用が少なく、**自転車・路線バス・ちゅうバス・自家用車(自分で運転)**の利用が多い傾向がある。
- また、**徒歩**も少なく、**マイカー依存が進んでいる**地域となっている。

日用品の買い物



通院



日用品以外の買い物



地区別カルテ (四谷文化センター圏域)

【通勤状況】

- 約6割が「週に3回以上」、約66%が「週に1回以上」の通勤をしており、**通勤者の割合が比較的多い**エリアである。
- 「通勤・通学していない(24.4%)」の割合は市全体と同程度である。
- 交通手段は、「**自家用車(35.5%)**」「自転車(31.6%)」「徒歩(18.4%)」「鉄道(18.4%)」となっており、**路線バス・ちゅうバスの利用は1割弱**であった。
- 通勤先は「**都内(港区、日野市、多摩市など)**」が**42.9%**と多く、次いで「市内」が39.3%であった。

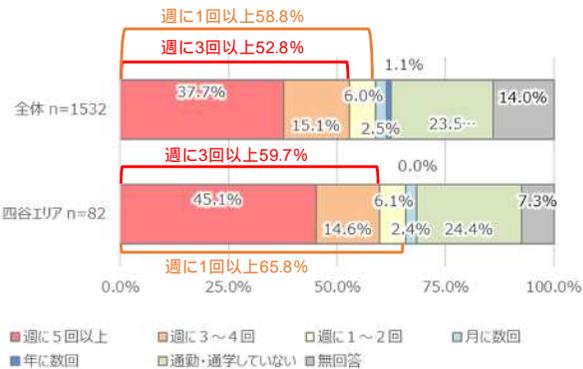


図 通勤の頻度



図 通勤時の移動手段



図 通勤先

地区の現状・問題点と課題

【現状・問題点】

- 中河原駅周辺や西府駅、多摩市方面が生活圏となっており、府中駅方面への移動ニーズが比較的小さいが、ちゅうバス(よつや苑西ルート)が当エリアから府中駅まで運行されており、非効率な運行ルートとなっている可能性がある。
- また、買い物や通院は中河原駅周辺又は地区内で済ませる傾向も見られる。
- ちゅうバスが片方向循環となっていることから、利便性が低くなってしまっている可能性がある。

【課題】

- 四谷エリア~府中駅間の移動ニーズを踏まえた、ちゅうバス運行ルートの見直し検討が必要である。
- 地区北部から西府駅周辺へのアクセス性の向上の検討が必要である。

【日常的に利用する鉄道駅】

- 「**中河原駅**」の利用が最も多く、次いで「**西府駅**」の利用も一部見られる。
- 鉄道駅までの交通手段は、**徒歩・自転車が多い**。
- 晴天時は**約1割が路線バス・ちゅうバス**を利用しており、雨天時は、それぞれの**利用割合が高まる**。

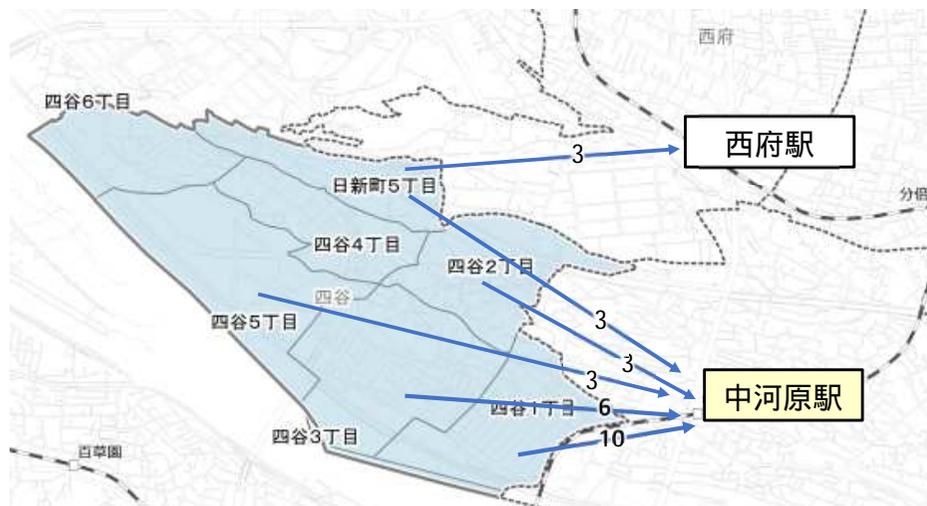


図 日常的に利用する駅

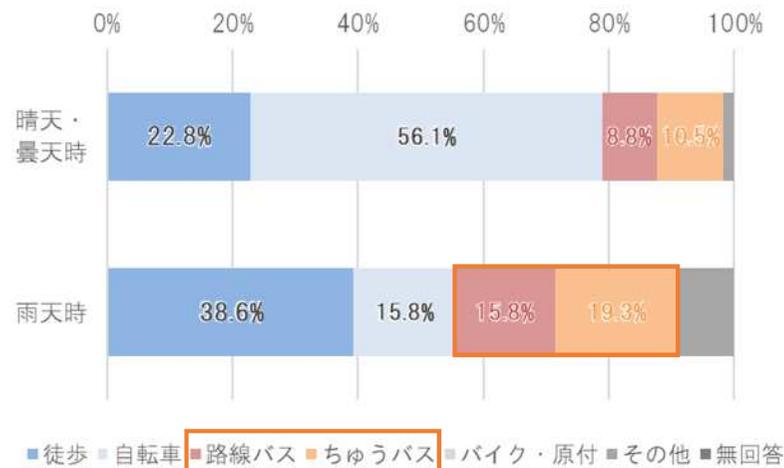


図 駅までの交通手段